

人吉市長 松岡 隼人 様

要 望 書

令和7年6月30日

人吉商工会議所

地域経済の振興に関する要望

～令和7年度商工会議所要望活動～

市当局におかれては、日頃より商工業の振興と発展に手厚いご支援をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

コロナ禍や豪雨災害からやがて5年を迎え、国内経済は緩やかに回復しています。本市商工業者も物価高騰や賃金上昇、人手不足など厳しい経営環境のなか、懸命に生業の回復に取り組んでいます。つきましては、地域経済が活性化し、復興が早期に実現するように、以下のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【Ⅰ. 景気対策について】

① 消費を喚起する施策の実施

昨年実施していただいた「きじうまコインプレミアムポイント事業」は、地域経済の活性化に大変有効であったと評価します。全国的な物価高騰が続く中で、賃金が低く消費力が弱い地方経済では、消費控えが発生しています。地域経済を活性化するには消費を喚起する経済対策が必要です。つきましては、多くの業種が参加できる消費喚起策の実施をお願いします。

② 地場産業の育成と景気対策

公共工事に限らず、地元企業への発注・調達、地場産業の育成には欠かせません。また、地元企業の受注機会を確保することにより、循環型経済を構築することも地域の景気対策として有効です。地元企業を優先した発注・調達をお願いします。また、建設が予定されている流水型川辺川ダムは総事業費が2,700億円余の大型プロジェクトです。建設業界をはじめ地元経済が恩恵を享受できるように、国・県へ要望していただきますようお願いします。

【Ⅱ. 観光振興について】

① 市独自の宿泊支援策の実施

新しい観光資源の開発や既存の資源の磨き上げ等、官民あげて誘客活動に取り組んでいますが、本市を訪れる宿泊の観光客は、未だ回復していません。宿泊割等、観光宿泊者の増に効果的な支援策の実施をお願いします。

② 日本遺産の活用と環境整備

人吉球磨の日本遺産が条件付きではあれ再認定されたことは喜ばしいことです。この度の再認定を機に民間でも日本遺産の新たな活用が始まっています。会議所が養成に携わった人吉観光案内人も、人吉の歴史や三十三観音など日本遺産の構成文化財にも精通しており、利用された団体には好評です。今後も観光案内人の養成に取り組んでまいります。しかし、日本遺産の構成要素となっている

寺社仏閣等によっては、無人で説明板がないところもあり、構成遺産の由来等について深く知ることが出来ないのが現状です。訪れた人がより理解を深められるようにデジタルの説明設備を整備していただきますようお願いいたします。また、訪日外国人観光客の国内消費額は年々増加しており魅力的です。外国人観光客に訴求するSNSを活用した日本遺産人吉球磨のPRをお願いいたします。

③ 肥薩線の早期全線復旧

肥薩線八代人吉間については、本年4月に熊本県とJR九州の間で最終合意に至りました。風光明媚な景観を走る肥薩線は、本市観光にとって重要なコンテンツです。人吉吉松間についても速やかに鉄路での復旧を決定していただくようにJR九州並びに国・県に要望していただきますようお願いいたします。

④ 空港バスの継続と増便

昨年、人吉と鹿児島空港を結ぶ高速バスが運行され、空港利用者の利便性が高まりました。引き続き、継続運行に対する支援をお願いいたします。また、運行継続にあたっては利便性向上のため増便をお願いいたします。併せて、熊本空港と直結したバスの運行を実現していただきますようお願いいたします。

⑤ 効果的なSLの保存と活用

昨年里帰りしたSL人吉には多くの観光客が訪れ、その効果を実感しています。つきましては、更なる集客のために、市で計画されております動態保存を含めたレールパークを早期に実現していただきますようお願いいたします。

⑥ コンベンション施設の必要性

コロナ禍後、市内ホテルにおいては、旅行形態の変化や人手不足等により、大人数で利用できる施設が無く、大規模な会議やイベントの開催に支障をきたしています。人吉球磨で最大の収容人数を誇る人吉カルチャーパレスの改修・存続についても依然として明確にされていません。本市は地理的にも南九州の中央に位置しており、広域的な利用も期待できることから、多目的に利用できる利便性の高いコンベンション施設の設置を検討していただくとともに、国・県にも施設の必要性を要望していただきますようお願いいたします。

【Ⅲ. 起業・創業支援について】

① 中心市街地で起業・創業する事業者への支援

中心市街地では更地や空き店舗が見受けられます。現在、起業や創業への支援制度は金融機関の融資制度以外なにもないのが現状です。テナントビルの建設や空き店舗への出店を促進するために、減税制度や創業補助金制度が効果的であると考えます。中心市街地に出店する商工業者への減税や補助金等、起業創業支援をお願いいたします。

【Ⅳ. 雇用対策について】

① 新規卒業者の雇用促進

人吉球磨にとって、人手不足は最大の課題です。一人でも多くの若者が地元企業に就いてもらえるように、人吉球磨の合同企業説明会や学生等との意見交換の場の創出等、官民協力して取り組んでいただくようお願いします。

【V. 中心市街地活性化について】

① 街なか駐車場の整備

昨年度、人吉市グランドデザイン推進アクションプランが策定され、社会実験等、新たなまちづくりが動き始めています。会議所会員からは、まちなかイベント時の駐車場不足と中心市街地に点在する空き地の在り方について意見がありました。魅力的なイベントの開催や店舗づくりは来訪者の消費マインドを掻き立てるものと考えます。来訪者を迎え入れる環境整備の一環として街なかに市営の駐車場を整備していただきますようお願いします。

② RVパークの設置

旅の形も変化し、団体旅行から個人旅行へ、景観を楽しむだけの旅から体験や癒しを求める旅など様々な目的の旅が生まれています。宿泊も旅館やホテルを利用せず、車中泊で旅を楽しむ人達向けに現在全国に280カ所余のRVパークが開業しています。本市でも2カ所のRVパーク（くまりば、華の荘）が登録されていますが、会議所では、より人吉を散策しやすい中心市街地にRVパークを開設できないか検討しています。ご支援をお願いします。

【VI. 球磨焼酎製造への支援について】

① 原料米の価格高騰と不足への対策

人吉球磨の特産である球磨焼酎においては、原料米の価格が例年の2倍にあがっており、仕込めば仕込むほど製造費用が跳ね上がる状況です。また、生産量は10年前の5,200トン余から現在は3,500トン余と減少しており、農家の高齢化と後継者不足に伴い需要が高い食用米への転換が影響していると思われます。加えて、国内消費が減少する中、海外への販路拡大に取り組む蔵元にとっては、米国の関税引上げの影響が懸念されます。つきましては、歴史ある球磨焼酎の製造が継続できるように、国・県・市の特段のご支援をお願いします。

以上、要望します。

令和7年6月30日

人吉商工会議所

会 頭 岩 下 博 明